

# オスプレイ配備へ土砂搬入

佐賀・地権者ら抗議 「売ると言つてない」



土砂を搬入するダンプと抗議の声をあける市民=19日、佐賀市

## 駐屯地予定地

佐賀空港（佐賀県佐賀市）への陸上自衛隊のオスプレイなどの配備に向け、駐機場や火薬庫、燃料タンクなどを整備するための駐屯地の予定地で19日、防衛省は土砂の搬入を始め、本格的な工事に着手しました。オスプレイ配備に対する団体や市民が抗議行動をしました。

ダンプは抗議行動の前に立ち往生していましたが、「オスプレイ反対」などの旗を掲げた参加者が横切り、午前10時43分から土砂を積んだ10tダンプ8台と散水車1台が次々と工事現場に入っていきました。一部の参加者がダンプの前で抗議しましたが、警察に排除されました。地権者でオスプレイ反対地域住民の会の古賀初次会長も訪れ、

「私は地権者だ。土地を売るなんて言っていない。勝手に道をふさいで、不法侵入ではないか」と防衛省に迫りました。古賀会長は記者團に「売つてもいいのに弱いものいじめではないか。この辺を土砂で埋め尽くすと考えると想像を絶する。悔しくて歯がゆい思いでいっぱいだ」と訴えました。

# 前日搬入開始説明

## 会場怒号

佐賀空港（佐賀県佐賀市）に陸上自衛隊のオスプレイなどを配備するための駐屯地建設工事で土砂搬入などを始めるのに先立ち、九州防衛局は前日の18日、佐賀市内で説明会を行い、翌日（19日）から搬入を始めると突然説明しました。

説明会には85人が参加。会場からは「急すぎる」といった怒りの声が噴出しました。説明会中、次々と質問の



説明会の参加者  
18日、佐賀市

手が举がる中、防衛省はまともに答へませんでした。

間を途中で打ち切り、「回音しる」「逃げるな」と怒号が飛ぶ中、退出しました。

説明会では6月中は午後6時半から翌日の午前8時半まで工事を運搬はしなどしまして。午前7時から8時半の登校時間は運搬を行わず、土砂搬入は10トントンを約20台に制

限して行つと説明。しかし7月から夜間工事をするかどうかとの参

加者の質問にはまともに答へませんでした。駐屯地予定地の地権者は「私たちはまだ土地を売っていない。しかし、防衛省は工期に間に合わせようと急ぐ。夜間も家のすぐそばを10トントンが通つていいべく、あんなべてもってのほかだ」と訴えました。

説明会の会場前ではオスプレイ配備に抗議する市民や団体が「オスプレイいらない」との横断幕などを掲げ、市田にアピールしました。日本共産党的武藤明美衆議もともに横断幕を掲げました。